

一九七三番

我妹子に わぎもこ あふちの花は はな 散り過ぎず ちす 今咲ける いまさ
ごと ありこせぬかも

一九七四番

春日野の かすがの 藤は散りにて ふぢ 何をかも なに み狩の人の かり
折りてかざさむ を ひと

一九七五番

時ならず とき 玉をそ貫ける たま 卯の花の う 五月を待た はな
ば 久しくあるべみ ひさ